

江戸時代・天草災害史

744		天平 16	5月	地震	大地震・八代、天草、葦北三郡の官舎、田290余町、民家470余区が水没・溺死1520余人・圧死40余人・推定M7.0・(続日本書紀)
1605	2.3	慶長 10	9.12.16	地震	慶長地震
1619		元和 5	3.17	地震	八代地方地震・麦島城破壊。 八代大地震・麦島城倒壊・推定M6.0～6.2。「卯ノ刻ヨリ大地震、牛ノ刻ニ至リ城楼崩壊」「年中ゆる」
1625		寛永 2	6.17	地震	肥後大地震・熊本城も被害、煙硝で火災。M5.0～6.0 熊本城天守付近の石垣など被災・死者50余人・推定M5.0～6.0
1642		寛永 19	5.28	地震	夜肥後にて地震4回。
1643		寛永 20	3.28	地震	肥後地方地震4回。 夜肥後地方地震4回。
1648		慶安 1	9.2	地震	早朝、肥後にて地震。
1648		慶安 1	9.11	地震	肥後地震。
1650		慶安 3	9.2	地震	肥後地震
1651		慶安 4	9.2	地震	肥後にて地震 (慶安3年か4年か?)
1661		寛文 1	7.1	地震	肥後大地震・翌日まで中小地震3回。
1662		寛文 2	5.1	地震	西国諸国大地震。
1662		寛文 2	9.19	地震	夜、大地震。 肥後地震
1662		寛文 2	10.19	地震	球磨地震
1665		寛文 5	4.1	地震	肥後地方大地震・一日中に4回。 は4月10日
1695		元禄 8	4.-	地震	大地震。
1699		元禄 12	6月	地震	益城にて被害あり。
1705		宝永 2	閏4.2	地震	肥後地震・丑告り卯刻(2時～6時)まで地震。この年、阿蘇大地震。
1706		宝永 3	4月	地震	肥後大地震。大地破れ家屋の倒壊、圧死するもの多数。
1707		宝永 4	10.4	地震	大地震(これは、放映大地震の事か?) 宝永大地震・推定M8.6。
1723		享保 8	11.22	地震	朝8時3度地震・夜また3度地震。 肥後大地震・山鹿で被害甚大・死者2人、負傷者25人、家屋倒壊980棟、推定M6.5、12月11日夜地震、12月28日夜地震。 肥後・豊後・筑後:肥後で倒家980、死2・飽田山本、山鹿、玉名、菊池、合志各郡で強く、柳川辺でも強く感じた。
1723		享保 8	11.28	地震	夜半に一度地震。
1725		享保 10	9.25	地震	深夜2時頃大地震・翌26,27,28と余震あり。 天草地方大地震・26日、27日、28日と余震あり。
1769		明和 6	6.11	地震	肥後川尻大地震。 肥後川尻大地震。
1769	8.29	明和 6	7.28	地震	熊本大地震。 73/4 日向、豊後、肥後、:延岡城、大分城で被害多く、寺社、町家の破損が多かった。熊本領内でも被害が多く、宇和島で強く感じた。津波があった。
1769		明和 6	8.1	地震	熊本、川尻、烈風地震。
1769		明和 6	11.-	地震	肥後大風地震。
1777		安永 6	1.8	地震	22時肥後大地震・一夜に7度、翌日も揺れる。

1778		安永 7	2.5	地震	肥後川尻大地震3回。 熊本、川尻にて大地震3回。
1789		寛政 1	10.8	地震	熊本大地震・この日までに7日間昼夜数度揺れる。
1792		寛政 4	3.1	地震	13時より大雨、15時大地震・20時頃まで13度襲震。それより連日 日々夜々余震止まず。 熊本地方大地震・13回強震・これより連日地震止まず。
1792		寛政 4	3.5	地震	9時、15時、21時ころ三度大地震。甕の水ゆすりたるほど。島原は更 に震度が大きいという情報が入る。
1792		寛政 4	3.12	地震	地震少しは薄らぐが、15日頃昼夜4,5度揺れ、晦日まで続く。
1808		文化 5	11.3	地震	肥後地震。 熊本地震。
1828	5.26	文政 11	4.13	地震	13日夜22時頃大地震・たびたび揺すり、14日朝まで余震あり・高潮 で各所の新田土手損壊で浸水。 八代地方地震5回。22時頃大地震・夜中度々揺れ、14日朝まで 余震あり・4月20、21、27日に余震あり。 M 6.0 長崎:出島の周壁が数か所潰裂。天草でも烈しかったと いう。天草の海中で噴火に似た現象があったという。
1828	5.26	文政 11	4.2	地震	23時頃地震・翌21日2時地震。
1828	5.26	文政 11	4.24	地震	9時頃地震・20時頃小地震。
1830		天保 1	7.2	地震	京都十里四方大地震。市中にて死者3百余人。
1840		天保 11	6.15	地震	肥後表昼夜3,4度地震・八代地方強し・21日また地震。
1841		天保 12	6.15	地震	昼夜3,4度地震。八代、芦北地方面強し・21日にも強震。 (年譜は11年に記載)
1844		弘化 1	6.25	地震	この日より28日まで昼夜度々自信あり。 肥後北部:28日まで地震が多く、久住北里で特に強かった。杖立 村で落石により百姓家崩れる。
1854		安政 1	11.5	地震	この日及び7日、熊本地震。 「安政南海地震」。推定M8.4・肥後でも死者6人、家屋倒壊907 棟。
1855		安政 2	10.2	地震	江戸で大地震・死者20万余人に達す。
1855		安政 2	11.5	地震	大地震(1854.11.5の地震のことか?)
1857		安政 4	12.2	地震	数十年稀な地震続く・熊本城石垣所々破損。
1866		慶応 2	3.3	地震	この夜20時大地震。 20時、熊本大地震。
1874		明治 6	7.28	地震	人吉大地震
1895	8.27	明治 28		地震	阿蘇山西麓で大地震・推定M6.3~6.8。(前年の地震の重記?)
1898	12.4	明治 31		地震	熊本県東部で大地震・推定M6.1・数日間に数十回の余震あり。
1916	12.3	大正 5		地震	熊本県南部で大地震・推定M6.1。

<p>1828(文政11)の大風被害</p>	<p>波風損壊反別、田1099町2反8畝7歩・畑235町9反2畝5歩・ 全壊家屋・4686軒・半壊家屋1415軒・ 神社倒壊30・鳥居10本・寺院10・ 並木松倒木・89本・留山痛木1万本・その他損木8975本・ 廻船破損23艘・同流失2艘・漁船破損546艘・同流失287艘・ 伝馬船破損305艘・同流失266艘・ 溺死人22人・潰家死人11人・同怪我2人・ 牛馬死亡13頭・同流失6頭・同怪我4頭・</p>
<p>資料 『天草近代年譜』 は熊本日日新聞 H28.5.27の「たびたび大地震 余震 “しつこく” 中世以降の熊本」の記事記載分。 ただし、年譜と一致する場合は除く。 は理科年表。Mは理科年表。 WはWikipedia</p>	